



## 2020年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年6月12日

上場会社名 株式会社 オービス

上場取引所 東

コード番号 7827 URL <http://www.orvis.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中浜 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 清輝

TEL 084-934-2621

四半期報告書提出予定日 2020年6月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年10月期第2四半期の業績(2019年11月1日～2020年4月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第2四半期	4,438	9.7	176	324.6	145	1,722.3	102	66.8
2019年10月期第2四半期	4,913	12.5	41	15.4	7	61.0	61	91.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第2四半期	59.30	
2019年10月期第2四半期	35.59	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年10月期第2四半期	14,403	3,634	25.2	2,091.72
2019年10月期	14,402	3,567	24.8	2,060.93

(参考)自己資本 2020年10月期第2四半期 3,634百万円 2019年10月期 3,567百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期		0.00		20.00	20.00
2020年10月期		0.00			
2020年10月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年10月期の業績予想(2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,248	7.1	426	409.2	361	1,714.0	288	26.7	166.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年10月期2Q	1,738,596 株	2019年10月期	1,732,000 株
期末自己株式数	2020年10月期2Q	1,178 株	2019年10月期	1,178 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年10月期2Q	1,732,707 株	2019年10月期2Q	1,730,897 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済情勢の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	6
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	7
（4）四半期財務諸表に関する注記事項	8
（追加情報）	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（2019年11月1日～2020年4月30日）のわが国経済は、各種政策効果もあり、雇用情勢や所得環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、通商問題及び中東地域を巡る情勢に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大など、国内外の景気の先行きについては、より一層不透明感が強まっております。

このような環境のもと、当社は「中期経営計画チャレンジ110（イチイチゼロ）」（2019年11月～2022年10月）の初年度となる今年度は、成長戦略の一層の進展を加速させ、中核事業である木材事業の通期営業黒字化を必達目標として掲げ、業績の立て直しを図る基盤整備の1年といたしております。

その結果、売上高は44億38百万円（前年同四半期比90.3%）、営業利益は1億76百万円（前年同四半期比424.6%）、経常利益は1億45百万円（前年同四半期比1,822.3%）、四半期純利益は1億2百万円（前年同四半期比166.8%）となりました。これにより、純資産は前事業年度末の35億67百万円から36億34百万円となり、自己資本比率は24.8%から25.2%となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。営業損益につきましては、全社費用等配分前で記載しております。

## (木材事業)

梱包用材等の受注環境は、米中貿易戦争や新型コロナウイルス感染拡大の影響により輸出梱包は軒並み低調で、先行きが全く見通せない大変厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、業界のリーディングカンパニーとしての広範な販売網を生かし、小口配送及び即納体制で供給できる強みを最大限発揮するなど、きめ細かな営業活動を通じ、お客様ニーズの取り込みを図ってまいりました。これにより、製商品の出荷量は前年同四半期比4.0%増加いたしました。また、福山工場の機械オペレーションについても、製材工員の育成によるノウハウの蓄積や業務習熟度の向上によって、時間当たりの生産効率は一段と高まってまいりました。

その結果、売上高は28億7百万円（前年同四半期比103.4%）、営業利益は46百万円（前年同四半期は営業損失89百万円）と2018年6月の福山工場稼働後初めて営業黒字を計上いたしました。

## (ハウス・エコ事業)

慢性的な労働力不足や原材料費の高騰等による採算性の低下、受注獲得に向けた業者間の競争激化など、変化し続けるビジネス環境への対応が求められ、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、施工管理体制の強化と市場の変化を先取りした提案型営業の推進など、各営業施策の強化に努めることで、徹底したコストダウンと顧客満足度の向上に努めてまいりました。また、鉄骨製作工場認定制度に基づくMグレードの資格取得に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、今後の受注獲得に向けた新技術や製品開発を積極的に推進し、技術及び品質において更に高い評価をいただける集団づくりに取り組んでまいりました。

その結果、売上高は11億96百万円（前年同四半期比68.4%）、営業利益は1億38百万円（前年同四半期比101.1%）となりました。

## (太陽光発電売電事業)

天候が良好で日射量が多く、売電量が前年同四半期に比べ増加いたしました。

その結果、売上高は1億98百万円（前年同四半期比102.7%）、営業利益は88百万円（前年同四半期比123.5%）となりました。

（ライフクリエイト事業）

ゴルフ場部門では、例年になく冬季の降雪も少なく天候に恵まれ、良好なコースコンディションを維持し、お客様より高い評価を得ることができました。しかしながら、多くの来場者が見込まれる4月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための外出自粛要請などにより、予約のキャンセルが相次ぎ、大変厳しい状況で推移いたしました。

フィットネス部門では、近郊において24時間型フィットネスジムの新規出店が相次いだことに加え、新型コロナウイルス感染拡大の場所として各種メディアに取り上げられたことにより、営業規模縮小や臨時休館などの対応を余儀なくされました。

その結果、売上高は1億89百万円（前年同四半期比89.6%）、営業利益は6百万円（前年同四半期比47.8%）となりました。

（不動産事業）

賃貸物件の定期的な保守メンテナンス及び住宅設備機器の更新を行うことで入居率及び定着率の向上を図ってまいりました。

その結果、売上高は46百万円（前年同四半期比99.4%）、営業利益は30百万円（前年同四半期比109.8%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して0百万円増加し144億3百万円となりました。その主な要因は現金及び預金が1億83百万円、仕掛品が1億90百万円それぞれ増加し、原材料及び貯蔵品が1億72百万円、機械装置及び運搬具が2億23百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末と比較して66百万円減少し107億69百万円となりました。その主な要因は工事未払金が1億40百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億17百万円、その他（流動負債）が1億53百万円それぞれ増加し、長期借入金が3億97百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末と比較して67百万円増加し36億34百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が68百万円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の業績予想につきましては、2019年12月13日の「2019年10月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」において公表した業績予想値に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	436,569	620,075
受取手形及び売掛金	1,504,221	1,438,435
電子記録債権	48,072	69,206
完成工事未収入金	1,798,991	1,894,104
リース未収入金	1,001,400	948,632
商品及び製品	96,424	119,428
仕掛品	55,822	246,649
未成工事支出金	51,462	89,395
原材料及び貯蔵品	480,524	308,348
その他	123,374	161,080
貸倒引当金	△594	△488
流動資産合計	5,596,269	5,894,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,684,827	1,632,104
機械装置及び運搬具（純額）	3,491,376	3,267,720
土地	3,042,051	3,042,051
建設仮勘定	2,141	4,352
その他（純額）	348,522	351,508
有形固定資産合計	8,568,919	8,297,738
無形固定資産	56,374	50,761
投資その他の資産		
投資有価証券	65,130	56,396
その他	117,869	105,633
貸倒引当金	△1,831	△1,786
投資その他の資産合計	181,169	160,243
固定資産合計	8,806,463	8,508,743
資産合計	14,402,733	14,403,612

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	727,151	673,680
工事未払金	233,565	374,300
短期借入金	825,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	1,079,045	1,196,590
未払法人税等	10,141	35,508
賞与引当金	55,224	55,135
完成工事補償引当金	76	80
その他	1,008,412	1,162,188
流動負債合計	3,938,615	4,297,483
固定負債		
長期借入金	6,353,233	5,955,965
退職給付引当金	135,225	131,574
役員退職慰労引当金	50,769	—
資産除去債務	7,837	7,868
その他	349,950	376,528
固定負債合計	6,897,016	6,471,935
負債合計	10,835,631	10,769,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,980	688,390
資本剰余金	512,980	516,390
利益剰余金	2,359,710	2,427,836
自己株式	△1,094	△1,094
株主資本合計	3,556,575	3,631,522
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,172	2,821
繰延ヘッジ損益	353	△149
評価・換算差額等合計	10,526	2,671
純資産合計	3,567,101	3,634,193
負債純資産合計	14,402,733	14,403,612

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
売上高	4,913,746	4,438,039
売上原価	4,264,440	3,658,419
売上総利益	649,306	779,619
販売費及び一般管理費	607,852	603,595
営業利益	41,454	176,023
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	574	683
仕入割引	772	476
受取賃貸料	2,400	2,400
その他	4,928	3,244
営業外収益合計	8,680	6,809
営業外費用		
支払利息	33,687	30,268
その他	8,452	6,853
営業外費用合計	42,139	37,122
経常利益	7,995	145,711
特別利益		
固定資産売却益	29	104
役員退職慰労引当金戻入額	8,041	—
特別利益合計	8,071	104
税引前四半期純利益	16,067	145,815
法人税、住民税及び事業税	5,599	26,433
法人税等調整額	△51,133	16,639
法人税等合計	△45,534	43,072
四半期純利益	61,601	102,742



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	16,067	145,815
減価償却費	359,312	349,119
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	60	△150
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△62	△88
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△1,113	3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△684	△3,651
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4,883	△50,769
受取利息及び受取配当金	△579	△689
支払利息	33,687	30,268
有形固定資産売却損益 (△は益)	△29	△104
有形固定資産除却損	108	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△468,228	2,306
たな卸資産の増減額 (△は増加)	127,435	△79,588
前渡金の増減額 (△は増加)	51,949	△44,732
仕入債務の増減額 (△は減少)	64,498	87,263
リース前受収益の増減額 (△は減少)	72,176	38,312
その他	△22,669	195,320
小計	227,043	668,636
利息及び配当金の受取額	365	419
利息の支払額	△30,099	△30,538
法人税等の支払額	△149,385	△5,832
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,924	632,684
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△3,817	△1,680
有形固定資産の取得による支出	△24,683	△74,539
有形固定資産の売却による収入	21	112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,479	△76,106
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△250,000	△25,000
長期借入れによる収入	1,020,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△541,961	△579,723
リース債務の返済による支出	△30,308	△33,872
配当金の支払額	△34,372	△34,475
財務活動によるキャッシュ・フロー	163,358	△373,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	182,802	183,506
現金及び現金同等物の期首残高	400,590	346,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	583,392	530,075

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項  
(追加情報)

当第2四半期累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
<p>(役員退職慰労金制度の廃止)</p> <p>当社は、2020年1月30日開催の第60期定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打切り支給を決議いたしました。</p> <p>これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打切り支給額の未払分60,093千円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。</p>

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	太陽光発電 売電事業 (千円)	ライフ クリエイト 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	2,715,014	1,748,321	193,012	211,017	46,380	4,913,746
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,715,014	1,748,321	193,012	211,017	46,380	4,913,746
セグメント利益又は損失(△)	△89,258	136,730	71,427	13,315	27,900	160,115

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	160,115
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△118,660
四半期損益計算書の営業利益	41,454

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第2四半期累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	太陽光発電 売電事業 (千円)	ライフ クリエイト 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	2,807,883	1,196,595	198,277	189,168	46,114	4,438,039
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,807,833	1,196,595	198,277	189,168	46,114	4,438,039
セグメント利益	46,844	138,279	88,221	6,361	30,631	310,338

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	310,338
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△134,314
四半期損益計算書の営業利益	176,023

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。